

教育の日 実践交流会

(テーマ) 「スマホ・ゲーム機使用のルールづくり
と体力づくり」

(日時) 6月18日(土) 9:00~11:55

(場所) 浦幌町中央公民館

(内容) 体力づくり実践発表 パネルディスカッション
講演「スマホ・ゲーム機使用のルールづくり 他」
講師 木幡敬史 (慶応義塾大学 SFC 研究所)

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 6 月 3 日 (N075)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

着実な実践への第一歩を

浦幌町小中一貫 CS 委員会

会長 林 常行



社会・経済のグローバル化に伴うように、子供たちを取り巻く生活及び教育環境も目まぐるしく変化しているのが今日の状況です。ここ浦幌町も例にもれず、社会変革の中で生じてきた課題解決への対応が急務となる状況にあります。その大きな課題解決に向け、本町では昨年 4 月より小中一貫 CS を本格導入致しました。

初年度の昨年は、主に上浦幌・浦幌両学園の基礎となるべきアクションプラン(行動計画)の策定に多くの時間を費やして熟議をいただき、関係者皆様の知恵と熱意の集大成としてそれぞれ独自の「うらほろの育みアクションプラン」を作成していただきました。これをもとに、本年度は目標達成に向けた一つ一つの実践が進められていく運びとなります。

ここで欠かす事の出来ないのが、学校・家庭・地域・関係機関の連携であり、学校からの発信力はもとより、児童・生徒も含めた皆様一人一人の当事者意識の高揚が地に足の着いた意義ある実践活動への大きな鍵となります。当 CS 委員会は、更に多くの皆様にコミュニティ・スクールの意義をご理解いただくための努力と、併せて両学園が目指す目標達成に向けた取組が円滑に進められるための繋ぎの役割を果たしていきます。

この地域総ぐるみでの取組がもたらすもの、それは「この町で育まれる子供たちの明るい未来」であり、延いては「うらほろの活力」に繋がる大きな力であると感じます。

私たち CS 関係者も一丸となってこの 1 年間対応させていただきますので、町民の皆様にも今迄にも増してご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

道内研修視察について

- ① 6月27日(月) 東神楽町教育委員会訪問 (主に浦幌町教育委員会職員が訪問します)
- ② 10月13日(木) 占冠村教育委員会訪問及び村内学校視察 (浦幌町教育関係者が訪問します)
詳細は後日お知らせします。